

思い出に残る良い試合をするために

【試合前】

- 1 ユニフォームの着用等
  - ・ユニフォームの着用については常に確認し、見苦しい姿にならないよう、気をつけること。
- 2 頭髪
  - ・中学野球の選手らしく、さわやかにする。
- 3 試合前の練習
  - ①決められた場所で行う。
  - ②試合会場では、登録選手(20名以内)のみ、試合用のユニフォームで行う。
  - ③練習会場、試合会場ともにフリーバッティングは禁止とする。
  - ④第2試合以降のブルペンでの投球練習は、攻守決定後、先発バッテリーのみ、審判員の誘導によって使用することができる。
- 4 道具類の確認
  - ・使用する道具類(グローブ、バット、キャッチャー用具等)については、事前に十分点検、確認をしておく。

【試合中】

- 1 タイムの回数制限
  - ①守備および攻撃タイムは7イニングにつき、それぞれ3回までとする。
  - ②延長戦は2イニングにつき1回とることができる。
- 2 コールドゲーム
  - ・得点差・降雨・日没等によるコールドゲームを決勝戦および最終代表決定戦を除き適用する。
- 3 特別継続試合
  - ・試合成立前に中止となった試合においては、特別継続試合を適用する。
- 4 延長戦
  - ・延長は9回まで行い(除く少年野球大会、新人大会)、それでも勝敗が決しない場合は、継続打順によって 特別延長戦を行う。
- 5 危険防止およびマナーアップのための禁止事項
  - ①ボールを保持していないときはもちろん、保持していても脚などで完全にベースをふさぐ行為。
  - ②完全にボールを保持している野手に対する走者の体当たり。
  - ③足を高く上げたり、プレイをしている野手に向かうスライディング。
  - ④必要以上に強い、または乱暴なタッグ行為。
  - ⑤ストライクに見せるための捕手の捕球後のミットの移動。
  - ⑥2塁走者に対して、遊撃手が走者の視線をさえぎるような行為。
  - ⑦プレイの判定や裁定等に対する不服な態度。
  - ⑧相手選手への威圧的またはミスを誘発させるような言動。
  - ⑨塁間の半分よりも前に位置するような、極端な前進守備。
- 6 応援
  - ・自チームの奮起を促す応援を行い、素晴らしいプレイや行動に対しては、敵味方なく賞賛する。

【試合後】

- 1 グラウンド整備
  - ・試合中の整備は両チーム協力して行い、試合後は勝利チームが次試合のノック終了後に率先して行う。また、その日の最終試合の勝者は球場全体の整備を行う。
- 2 環境美化
  - ・応援席も含めてゴミの持ち帰り等、会場全体の環境美化に努める。

道具についての確認事項

- 1 必ず着用するもの
  - ①捕手のヘルメット・プロテクター・レガース・セーフティカップ
  - ②打者・走者・コーチャー・ノック時の補助員・ボールボーイ・バットボーイのヘルメット
  - ③ローカットストッキング(カラーソックスのみの使用は認めない)
- 2 用具に関する制限
  - ①手袋は白または黒の単色とする。
  - ②グローブ、ミットは本体(捕球面、背面、ウェッジ)が同一色であることとし、縁取り、しめひも、縫い糸について、色の制限は設けない。
  - ③テーピングは、肌の色に近いものを使用する(投手の投げ手への使用は禁止)。
  - ④バットはJ S B B公認であり、B号球に適合しているものであること。
- 3 スパイク
  - 色は黒一色とし、その形に特に規制は設けない。